

通によって、篠路地区と東区栄町方面との行き来が便利になります。

太平地区に地区センター新設

地域活動の拠点として、多くの区民に利用されている地区センター。区内では、四館目となる太平地区センター（仮称）の新設に向けて、準備が始まります。

太平一二条二丁目に建てられる予定のこのセンターは、二階建て、延べ床面積約千二百平方メートル。平成十五年の春に着工し、来年度中のオープンを目指します。開館後は、地域のふれあいの場として活用され、住民同士の交流が深まることが期待されます。

新琴似駅前土地区画整理事業

平成十二年に完成したJR札幌線の複線高架化。これにより、新琴似地区は踏切による交通渋滞や市街地の分断が解消され、より住



生まれ変わる新琴似駅前の完成予想図

みよい地域へと発展しています。今年度も引き続き、駅前地区の区画整理事業を進め、駅前交通広場や公園、道路を整備、交通アクセスの拠点にふさわしい、魅力ある空間づくりを目指します。

麻生駅にエレベーター設置

だれもが安全で、安心して暮らすことができるまちづくりを目標に掲げる「福祉のまちづくり条例」。これに基づき、地下鉄麻生駅に地上とホームを結ぶエレベーターを設置します。

また、オストメイト（人工肛門、人工ぼうこう造設者）にも対応した車いす使用者向けトイレも同時に設置されます。今年の夏から工事が始まり、平成十五年度中に完成する予定です。

グリーンゾーンの整備

人に優しい緑豊かなまちづくりを目指している篠路地区住宅団地「グリーンピアしろ」。その中の「グリーンピア篠路北団地」では、昨年の二棟に続き、八階建て市営住宅の建設を進めています。

また、住宅団地内の地域福祉モデルゾーンには、白石区から児童養護施設「柏葉荘」が移転。この施設には、保護者の急な入院や冠婚葬祭などで、一時的に養育が困難となった場合に子どもを預けることができる「子育て支援短期利用

事業（子供ショートステイ）」のための専用居室も整備されます。

北口8・3地区複合施設整備



8・3地区に建設される民間ビルの完成予想図

JR札幌駅北口周辺（北八条西三丁目）の再開発事業では、地下二階地上十三階の民間ビルの建設が進められています。このビルには店舗や事務所が入居するほか、男女共同参画センターや消費者会館、市民活動サポートセンター、環境プラザ（いずれも仮称）の四つの公共施設を整備。これらの施設には、さまざまな市民活動団体やサークルの活動拠点としての役割が期待されています。なお、公共施設のオープンは、平成十五年秋の予定です。

魅力ある公園造り

都市緑地三力所、近隣公園一カ所、街区公園三カ所を造成します。また、新川なかよし公園（新川三

条一四丁目）のほか二つの街区公園が、地域の特性を生かした個性あふれる公園へと大きく生まれ変わります。

戸籍事務をコンピュータ化

平成十五年三月から、戸籍事務をコンピュータ化する予定です。これによって、証明書が発行されるまでの待ち時間が今までの約三分の一に短縮。また、婚姻届や出生届を提出してから、その内容を記載した証明書の交付を受けることができるまでの期間も、大幅に短縮されます。

今年、札幌市で二つの世界規模のイベントが開催されます。サッカーの世界的祭典「2002 FIFAワールドカップ韓国・日本TM」。開催会場の一つ、札幌ドームでは、六月一日（土）、三日（月）、七日（金）の三日間、一次リーグの三試合が行われます（詳しくは、全市版257ページ）。また、「DPP」（障害者インターナショナル）世界会議札幌大会が、十月十五日（火）から四日間、道立総合体育センター（きたえーる）で開催されます。障害者を取り巻く問題について話し合いに、百力国以上、約二千人の障害者や福祉関係者が参加。市民の皆さんとの交流事業も予定されています。